

# やまなし 県議会 だより



令和7年1月7日 県議会議事堂前



## 十二月定例会の概要

県議会は、令和六年十二月定例会を十二月三日から十八日までの十六日間の日程で開催しました。

開会日には、長崎幸太郎知事が令和六年度一般会計補正予算案などを提出しました。

提案理由説明で知事は、富士山における交通システムについて「県民の鉄軌道に対する懸念を受け止め、新たにゴムタイヤで走行するモビリティ『富士トラム』という革新的な交通システムを提案し、これへの転換を図るとともに、リニア中央新幹線開通時には富士山とリニア新駅を結び、新駅をもう一つの『富士山の玄関口』とすることでリニアの停車本数の増加を目指す」との考えを示しました。

公立小学校で四年生までに導入している二十五人学級については「来年度から五年生まで、令和八年度には全学年に導入することとし、子供たちが、きめ細やかな教育を受け、自らの可能性を開き、将来に羽ばたくことができる教育環境を、持続可能なものとして確立できるように、引き続き尽力していく」と述べました。

また、開会日の本会議では、九月定例会で設置した決算特別委員会の審査結果の報告を受けた後、令和五年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算について賛成多数で認定しました。

知事の説明を受けて十二月六日、九日、十日、十一日の四日間、代表質問四名、一般質問六名の議員が登壇し、富士山における新交通システムやJR中央線の定時性確保などの補正予算案等及び少人数教育の推進など県政全般にわたる諸課題について質疑・質問し、活発な議論を交わしました。(詳細は二面)

十二月十二日には、教育厚生、土木森林環境委員会、十三日には総務、農政産業観光委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。(詳細は三面)

定例会最終日の十二月十八日の本会議には、総額八十四億二千六十八万二千円の令和六年度一般会計補正予算に加え、議員提出による「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書など二十五案件を可決して閉会しました。

卯月政人議長は、閉会のあいさつの中で、「本年を振り返ると、能登半島地震、記録的豪雨など自然災害への備えの重要性を再認識した一年であった。今後とも、県議会として、県政の重要課題に向き合い、県民の負託に応えられるよう、なお一層尽力していきたい」と決意を述べました。

## 県議会 トピックス

### 韓国・忠清北道訪問

10月17日から20日まで、卯月政人議長、長田公副知事と県内経済団体で構成する山梨経済交流団が、韓国・忠清北道を訪問しました。訪問では、民間の経済関係者と交流を図り山梨県のPRを行う一方、卯月政人議長が忠清北道議会を訪問し、李洋燮議長や道議員と面談するなど、友好関係の深化に努めました。



民間の経済関係者との記念写真

### 駐日インド大使表敬訪問・駐日韓国大使表敬訪問

10月15日、駐日インド大使館のシビ・ジョージ特命全権大使が、県議会を表敬訪問され、卯月政人議長と面談しました。山梨県とインドの間で今後期待される、商業や観光など幅広い分野での活発な交流について意見が交わされました。

また、11月1日、駐日大韓民国大使館の朴喆熙特命全権大使が県議会を表敬訪問され、卯月政人議長、臼井友基副議長、長田公副知事と面談しました。面談は、朴大使が山梨県と友好姉妹関係にある韓国・忠清北道出身であることから、共通する話題に花が咲くなど、友好的な雰囲気の中、今後のさらなる交流に向けて意見を交わしました。



卯月議長とシビ駐日インド大使(右)



朴駐日韓国大使(中央)との記念写真

県議会のホームページもご覧ください。

定例会の日程や会議録の検索など、議会の情報が満載です。本会議のインターネット中継も見ることができます。

山梨県庁ホームページの中段、県政情報にある「県議会」から入ることができます。(ホームページアドレス <https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html>)



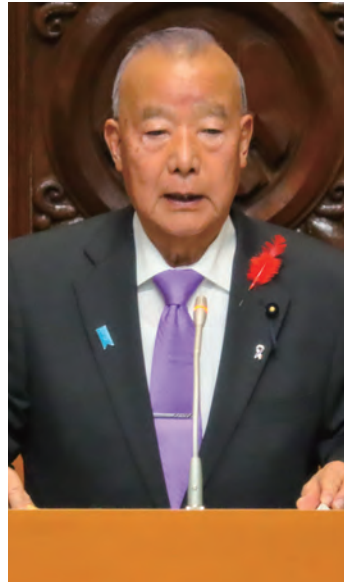


12月定例会では、12月6日、9日、10日、11日の4日間にわたり、代表、一般各質問を行いました。各議員の質問項目は次のとおりです。

### 代表質問

- 「富士トラム」の推進
- 峡南地域における地域医療構想の推進
- 国際保育の推進
- 担い手の確保・定着に向けた林業の収益力の向上
- 産業施策を加速させる企業立地
- やまなしパラスポーツセンターの効果的な運営
- 峡南地域の観光振興
- 高温に強い米「にじのきらめき」の生産振興とブランド化
- 地震発生時の道路啓開
- 災害廃棄物の処理対策
- 少人数教育の推進
- いじめや不登校対策
- マイナンバーカードと運転免許証の一体化
- 県内における電話詐欺被害の現状と防止対策

自由民主党・開の国 望月 勝



- 「富士トラム」の導入に向けた県民の合意形成
- 富士五湖自然首都圏フォーラムにおける今後の米国力リフォルムとの連携
- 高等専門学校設置に向けた検討状況
- 人口減少下における小規模自治体に対する県の支援
- 企業版ふるさと納税の推進
- 慢性腎臓病対策
- 使用済み太陽光パネルの廃棄問題
- 令和十四年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた選手育成の取り組み
- 山梨デザインセンターの取り組み
- 農作物の盗難防止対策
- 鳥類による漁業被害の軽減対策
- 富士川中流域におけるアユを育む・清流プロジェクト
- 建設業の次世代を担う人材の確保に向けた取り組み
- 教員のなり手不足への対応

自由民主党新緑の会 長澤 健



- リニア新駅と富士山を結ぶ新たな交通網の整備
- 富士山の登山通行料
- インターネット上のトラブル対策
- 県職員の働きやすい職場づくり
- 若年層の投票率向上を目指した取り組み
- 火山防災に係る人材の育成
- 富士・東部圏域における重度障害者の支援体制
- 大規模災害時の在宅酸素療法患者への対応
- 土産品の高付加価値化に向けた取り組み
- 文化財の保存事業にかかる補助金のあり方
- ブドウのオリジナル品種の生産振興
- 不登校などで長期欠席した生徒に対する高校入試の特別選抜制度
- 令和九年度インターハイ南関東ブロックの山梨県開催に向けた取り組み

自由民主党 政風やまなし 向山 憲稔



- 技術系人材の確保・育成
- 機械電子産業に対する産業技術センターの支援
- メディカル・デバイス・コリドー構想の更なる推進
- 災害時におけるDWAAT活動の充実
- 自然災害やサイバー攻撃等に備えた中小企業のBCP策定の促進
- 洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある公立学校の安全対策
- 下水道施設の耐震化
- 食品ロス削減県民運動の推進
- 学校給食における地産地消への取り組みを通じた食育の推進
- 依存症対策の推進
- 難病患者への支援
- 有機フッ素化合物への対応
- 本県における大麻事犯の現状と対策

未来やまなし 清水 喜美男



- 海外における県産ブドウのブランド力の更なる向上
- カナデビア株式会社との県内進出の意義と効果
- 笛吹川フルーツ公園を核とした峡東地域の活性化
- 人口減少対策における若年世代への働きかけ
- 日川高校グラウンドの人工芝生の実現
- 小中一貫教育の取り組み
- 学校の体育館への冷房設備の導入
- 貢川における災害復旧と河川整備
- 水害発生時における市町村間の広域避難
- シニア世代の働く希望を叶える環境整備
- 女性デジタル人材・就労支援事業
- 中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制の強化
- 市町村と連携したDXの推進



伊藤 毅 (自由民主党 新緑の会)



飯島 力男 (自由民主党 開の国)

- 物価高騰対策
- マイナ保険証
- 学校給食費無償化
- 看護職員修学資金に関する返還免除規定
- 地域枠等医師キャリア形成プログラムに関する返還免除規定
- 上下水道の耐震化
- 県の公募型プロポーザルの改善
- 富士山登山鉄道構想と富士トラム構想
- 知事の政治資金をめぐる問題



菅野 幹子 (日本共産党)



望月 大輔 (自由民主党 新緑の会)

- 能登半島地震を教訓とした地震対策
- JR中央線の定時性確保に向けたシカの捕獲対策
- スタートアップの資金調達の支援
- スポーツを通じた地域活性化の取り組み
- 富士トラムを活用した石和温泉の観光振興
- 農業における女性の活躍支援
- 学校部活動の地域移行における課題



中村 正仁 (自由民主党 開の国)

- 青少年の国際交流の深化
- ドローンによる自殺防止対策と観光地としてのイメージアップ
- 盛土規制法の施行に伴う今後の方針
- クマに関する情報発信の強化
- 峡北地域の水稲の生産振興
- 県道横手日野春停車場線の道路整備
- 空き家活用ビジネス
- 教育環境のさらなる充実
- 教職員の処遇改善
- インターネット上の違法・有害情報等に対する県警察の取り組み



福井 太一 (えがお夢)

- 可決・認定された主な議案
  - 山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例及び山梨県特別職の秘書の職の指定等に関する条例改正の件
  - 山梨県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正の件
  - 山梨県職員給与条例及び山梨県一般職の任期付研究員及び任期付職員採用等に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与条例及び山梨県一般職の任期付研究員及び任期付職員採用等に関する条例改正の件
  - 令和六年度山梨県一般会計補正予算(第十二号)
  - 令和六年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算(第三号)
  - 令和六年度山梨県集中管理特別会計補正予算(第一号)
  - 契約締結の件
  - 指定管理者の指定の件
  - 令和五年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件
  - 令和五年度山梨県公営企業会計決算認定の件
- 可決された意見書
  - 「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書
- 採択された請願
  - 「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択について

#### 議案に対する各会派の賛否(起立採決分)

議案の名称	議決結果	自由民主党・開の国	自由民主党新緑の会	自由民主党	未来やまなし	日本共産党	自由民主党	公明党	リベラル山梨	やまなし県民会議	えがお夢
知事提出議案											
第102号 (山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例及び山梨県特別職の秘書の職の指定等に関する条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第103号 (山梨県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第108号 (山梨県警察関係手数料条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第109号 (山梨県幼保連携型認定こども園に関する基準を定める条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第110号 (令和六年度山梨県一般会計補正予算(第十二号))	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第112号 (令和六年度山梨県集中管理特別会計補正予算(第一号))	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認第1号 (令和五年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件)	認定	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○

○:賛成 ×:反対

その他の議案を含めた議員別の賛否はホームページをご覧ください。



# 委員会レポート

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、十二月十二日、十三日に令和六年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、十二月十八日の本会議では、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

## 総務委員会

委員長 伊藤 毅



### Eコシステム整備推進事業費

**問** どのような経緯で富士トラムへ転換したのか。また、詳細調査の具体的な内容は。

**答** 本年度、LRT以外の交通手段について、比較・検討を行うとともに、住民説明会や意見交換会の開催により県民や反対団体との対話を重ねてきた。こうした中、十一月十三日に知事が反対団体の代表と直接意見交換を行い、来訪者コントロールは必要であるが、その方法として鉄道には反対であること、また、環境に配慮できれば電気バスでなくてもよいことなどの考えを確認した。それらを踏まえ、腹案であった富士トラムが富士山

登山鉄道の代替案になり得ることを確信し提案した。詳細調査の具体的な内容としては、国内導入に向けた技術面・法律面の適合性を確認すること、国内企業に対しヒアリングを実施し、ラムの国産化に係る条件を整理すること、インシヤルコストだけでなくランニングコストを含めた導入コストを試算することを予定している。これまでの検討内容をしっかりと活用し、県民の理解・納得を得ながら、遅滞なく調査・検討に着手していく。

【その他の主な質問事項】  
・富士山吉田ルート通行予約システム整備費  
・中央線沿線におけるニホンジカ対策事業費

### 山梨県立図書館の指定管理者の指定の件

**問** 現行の指定管理期間である四年間を、次期の指定管理期間では五年間に変更する理由は。また、今後は、指定管理候補者と、県立図書館をどのように運営していくのか。

**答** 指定管理期間については、令和六年度から四年を標準としつつ、施設の特性や事業者の提案を踏まえ、適切な期間を設定することとなったが、図書館では、管理運営業務を行う意向のある団体から聞き取りを行い、人材の確保、育成をより計画的に進められることや、使用する機器の一般的なリース期間と合わせられ

るとの意見があったことを踏まえ、指定管理期間を五年とした。また、今後の県立図書館の運営としては、指定管理候補者から提案され、にぎわいを創出するものと評価された、教育機関や地域の企業・団体と協力して行うワークショップや体験型の展示、参加型のコンサートなどを通じて、にぎわいの創出にも取り組んでいきたい。

【その他の主な質問事項】  
・山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮の指定管理者の指定の件  
・里親支援センター環境整備事業費補助金

## 教育厚生委員会

委員長 笠井 辰生



### 中央線沿線ニホンジカ 緊急捕獲事業費

**問** これまで鹿の管理捕獲を進めてきたが、改めてこの事業を行う目的と、事業の具体的な内容は。

**答** 本年度、JR中央線において、例年を上回る頻度で遅延が発生しており、県内での原因として最も多いのが、鹿との衝突である。このため、JRの定時性確保を目的として、鹿と電車との衝突事故を減少させるため、集中的に捕獲事業を行うものである。

を参考に二千五百頭とし、県猟友会へ委託して実施する。また、衝突事故が急増する春先の三月から六月にかけて強力に捕獲を推進し、目標頭数を確実に達成するため、繰越明許費を設定した。これにより、実施期間を来年一月から来年度末までの十五か月間とし、切れ目ない対策が可能となるとともに、知事政策局が実施する動態調査の結果も活用することで、より効果的・効率的な捕獲を行うことができる。

【その他の主な質問事項】  
・山梨県営住宅等の指定管理者の指定の件  
・契約締結の件

## 土木森林環境委員会

委員長 桐原 正仁



## 農政産業観光委員会

委員長 長澤 健



### ぶどうAI選果機導入・実証支援事業費補助金

**問** AI選果機とは具体的にどのような選果機なのか。また、この選果機を実用化するに当たっての課題は何か。

**答** 今回、開発・実証する選果機では、ブドウの糖度を、光センサーを用いて、一房ずつ計測し、さらに、AI技術により外観の品質を判別して階級を選別するものである。既に光センサー選果機が実用化されている桃やミカンはいずれも球状の果実であるがブドウは、小さな粒が集まった形状であるため、房のどの部分を測定することができるかといった技術的な課題があった。また、ブドウはデリケートであるため、選果機に乗せたときに粒が落ちてしままい、商品価値が落ちてしまうといったオペレーション上の課題もあった。また、果実の品質をしっかりと保証していくためには、光センサー等の精度の向上が課題となる。今回、これらの課題を総合的に解決し、できるだけ早期に、国内初となる新たなブドウの選果体制を構築していく。

【その他の主な質問事項】  
・やまなしバラスポーツセンターの指定管理者の指定の件  
・中央線沿線におけるニホンジカ対策事業費

## 常任委員会 県内調査

各常任委員会では、議会閉会中に、それぞれ所管する事項の審議の参考とするため、県内外での調査活動を行っている。今回は、令和六年十一月に実施した各常任委員会の県内調査の主な状況について御紹介します。

### 総務委員会



県甲斐警察署(写真)では、在留外国人の増加に伴い、窓口の多言語表記や治安確保のための通訳体制の整備など地域住民の安心安全の実現に向けた取組が進められていることを確認しました。また、県富士山科学研究所(富士吉田市)では、富士山の火山防災をビジネス創出の機会と捉え、VRを活用して避難行動を学ぶ教材の制作など民間企業との共創によって新たな可能性の取組が進められていることを確認しました。

### 農政産業観光委員会



身延町特産のあけぼの大豆の生産・販売に携わる皆様との意見交換(写真)では、「若者の担い手が不足している」や「生産性の向上と品質の確保の両立が課題だ」との意見を聞くことができました。また、早川水系発電管理事務所(早川町)では、整備を進めているDXを推進することで、遠隔から現場の状況把握が可能となり、保安管理の高度化が図られていることを確認しました。

### 教育厚生委員会



新検査棟が建設された県衛生環境研究所(甲府市)では、新型コロナウイルス等のゲノム解析が最短で約10日間短縮となることを確認しました。また、県立吉田高等学校(富士吉田市)での生徒との意見交換(写真)では、「生徒の自主性や能力差を考慮して一斉課題の廃止」や「将来を考える機会となる職場体験をしたい」との意見を聞くことができました。

### 土木森林環境委員会



北州市役所(写真)では、本県及び北州市の空き家対策について調査し、県と市町村が連携した空き家の減少に向けた取組が進み、国の調査で二期連続して減少していることを確認しました。また、武田の杜健康の森(甲府市)では、武田の杜の価値向上に関する取組等について調査し、近隣の湯村温泉や昇仙峡など観光資源を活用することで、その相乗効果による地域活性化を目指していることを確認しました。



議会運営委員会

議会運営委員会(河西敏郎委員長)は、富山県議会と福井県議会を訪問し、本県とは異なる特別委員会の設置状況や議会広報等について意見を交わし、今後の議会運営及び議会改革の参考とすることができました。また、これにあわせて、総曲輪レガートスクエア(富山県富山市)(写真)では、行政や大学、企業、NPO法人、地域住民が行う一体的・持続的なまちづくりについて、福井県立恐竜博物館(福井県勝山市)では、恐竜を活用した地域活性化について調査を行い、本県の少子高齢化時代におけるまちづくりや地域資源を生かしたにぎわいの創出に向けた取組の参考とすることができました。



デジタル化推進委員会

デジタル化推進委員会(卯月政人委員長)で検討してきた議員個人のパソコンやタブレットの会議等への持ち込みについて、十一月二十六日に開催された議会改革検討協議会に検討結果を報告し、十二月定例会から全ての会議において、貸与されたタブレットに加え、議員個人のパソコン等の持ち込みを可とすることが了承されました。引き続き、デジタル化の推進に向けた、様々な取組について検討していきます。



議員研修会を実施

十二月九日、「議会運営及び議会審議等の資質の向上を図り、もって県民福祉の増進に資する」ことを目的に、議員研修会を実施しました。研修会では、「地方議会の役割及び議員の職務の明確化を内容とする地方自治法の改正」について、立命館大学の駒林良則特任教授から講義を受け、昨年及び本年に施行された地方自治法の改正の具体的な内容や、地方制度調査会の議論を経て法律の改正に至った経緯などについて、実例を交えた詳しい説明がありました。講義後の質疑応答では、二元代表制のあり方や議会としての執行部への対応について、また、住民が求める議会広報の考え方など、幅広く意見を交わしました。



多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員会

不登校児童生徒などへの対応を検討している、多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員会(望月勝委員長)は、十月二十八日に箕輪町立箕輪中学校(長野県)を訪問し、不登校適応指導コーディネーターを中心とした関係者と連携した支援の取組や校内教育支援センターの運営について調査を行い、人材配置の重要性などについて理解しました。



箕輪中学校での現地調査の様子

決算特別委員会

九月定例会で設置された決算特別委員会(水岸富美男委員長)は、令和五年度の山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出決算の内容及び公営企業会計(電気事業、温泉事業、地域振興事業、流域下水道事業)の決算内容について、議会閉会後も継続して五日間の審査を行いました。審査では、収支の状況や予算執行上の適否等について活発な質疑が行われました。審査の結果を十二月定例会開会日の本会議で水岸委員長が報告し、賛成多数で認定されました。



2月定例会の予定

2月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 2月 13日(木) 本会議(開会)     | 3月 3日(月) 常任委員会(令和6年度関係) |
| 19日(水) 本会議(質疑・質問)     | 4日(火) 本会議(令和6年度関係)      |
| 20日(木) 本会議(質疑・質問)     | 5日(水) 常任委員会(令和7年度関係)    |
| 21日(金) 本会議(質疑・質問)     | 6日(木) 常任委員会(令和7年度関係)    |
| 25日(火) 本会議(質疑・質問)     | 7日(金) 常任委員会(令和7年度関係)    |
| 28日(金) 常任委員会(令和6年度関係) | 10日(月) 常任委員会(令和7年度関係)   |
|                       | 21日(金) 本会議(閉会)          |

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

ホームページ、会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、最寄りの各地域県民センター、お住まいの市町村議会事務局でもご覧いただけます。

山梨県議会